

所 属	県土整備部 砂防課		
担当(係)名	企画担当	内線	3742

総合的な土砂災害対策の推進

1 事業費	【財源内訳】	【主な使途】
4,000,400	国庫 1,779,040	工事請負費 2,324,000
(前年度	県債 1,657,700	(砂防えん堤工等)
4,450,450)	一財 140	委託料 1,292,820
	使・手 460,000	(測量設計調査等)
	分・負 103,520	

2 背景・現状

平成21年は、7月に発生した中国・九州北部豪雨で特別養護老人ホームを土石流が襲い入所者7名が亡くなるなど、全国で土石流やがけ崩れといった土砂災害が1,000件以上発生し22名の尊い人命が失われた。

岐阜県でも、7月に関市中之保地内で土砂・流木が河道を埋塞し溢水したことによって人家が浸水する等の土砂災害が発生した。

3 事業目的

近年多発する土砂災害から県民の命を守る防災対策の強化として、「八山系砂防総合整備計画」に基づき、警戒避難体制の整備の支援などのソフト対策と、迅速な避難が困難な人が利用する施設を守る砂防えん堤等のハード対策を組み合わせた総合的な土砂災害対策を推進する。

4 事業概要



ソフト対策の優先実施

土砂災害を受ける恐れのある箇所ので地形や土地利用状況等の調査を実施し、危険な区域を明確にし周知する。また、降雨時は土砂災害の危険性を情報発信するなど、市町村による警戒避難体制の整備等を支援する。

美濃市他 約1,000箇所を調査予定
(710,000千円)

砂防えん堤などのハード対策の重点化
安全で迅速な避難を推進するために、災害時要援護者が利用する施設及び避難所等が立地する土砂災害危険箇所を重点的に整備する。(3,290,400千円)

(款) 8 土木費	(項) 4 砂防費	(目) (3) 砂防事業費
(明細書事業名) 公共事業 通常砂防費他		